

海の向こうから



青年海外協力隊広島県OB会会報誌

第24号 2007年12月発行
編集、発行 青年海外協力隊広島県OB会
hiroshima_jocv_obkai@yahoo.co.jp

HOCA ほかプロジェクト

今年から始まった派遣中隊員支援「HOCAほかプロジェクト」が、ようやく本格的に動き出しました。

これは、OB会が現在派遣中の広島県出身の隊員に活動支援を行うプロジェクトです。現地の活動の中での隊員の「少しの支援があれば、こんなことができるのになあ」という思いをサポートし、現地の人々と何かを感じ、何かを残せるような、そんな小さいけれど心温まるような支援を目的としています。

今年度は昨年のひろしまフードフェスティバルや国際交流・協力の日でのエスニック料理の売り上げの一部を、派遣中隊員の経費に充てます。そしてOB会も直接、隊員と現地に支援するというものです。

9月末までの募集で、3つの申請をいただき、OB会幹部などの「HOCAほかプロジェクト委員会」のメンバーで協議した結果、3件とも承認されました。以下の通りです。

対象国	支援事業名	申請者	隊次	職種
カンボジア	楽器でにこにこプロジェクト ～楽器でつながるあなたとわたし～	森下 理奈	19-1	小学校教諭
ホンジュラス共和国	新居モデリング事業	木村 哲也	17-3	建築施工
ルワンダ	ニャガタレ郡手工芸品輸出 トライアル事業	綿本 結子	18-0	村落開発 普及員

現在、JOCA 中国支部の細川さんのご協力で、ようやく申請された隊員の皆さんに、支援金を送金することができ、現地でそれぞれの活動事業を進めていらっしゃるようです。
(プロジェクト担当 大田黒)

1、カンボジアの森下隊員より報告が届きました。

みなさん、こんにちは。私は今、カンボジアの小学校教員養成校で音楽・体育・図工を中心に活動しています。

先日、HOCAほかプロジェクトで送って頂いた鍵盤ハーモニカで、初授業をしました！初めてのドレミに指を震わせながら一つずつ弾いている男子学生、必死で吹いて「口が痛いよー！」と、それでも嬉しそうな女子学生。

楽器もなく、楽譜の文化をもたないカンボジアに鍵盤を導入することの是非、モノを簡単に送ることの是非等、ずっと悩み続けてきました。でも新しい楽しみをみつけた笑顔を見ると、「可能性の提示」でもいいのでは、と思えてきました。これからが楽しみです。ご支援ありがとうございました。

19-1 森下理奈



2、ホンジュラス木村隊員より報告が届きました

現在、私の配属先では、貧困地域の人々のために住居建設を行っています。そこで私は、電気・水もないこの集落で多くの住民とともに寝食を共にしながら住居建設の指導係を担っています。私の活動も残すところあと3ヶ月となった2007年12月にこの1年以上に渡る住居建設プロジェクトも終了することとなりました。約130軒の家々が完成です。トラックなどの車輛が入れないほどの山奥にある集落のため、来る日も来る日もブロック、セメント袋などの資材を手運びし、住民たちの手で作り上げた家々です。これから先、何十年も家族みんなで汗水流して造った家にずっと住み続けて欲しい、愛着を持って欲しい、清潔を保ち続けて欲しいと言う願いから少しでも家に彩りを取り入れてあげたいと思い、OBの方々が企画してくださったHOCAほかプロジェクトに企画書を提出しました。幸いにもこの案件を採用していただき、現在僕がデザインした玄関に飾るための表札&壁掛けの製作が協力機関で行われています。12月20日の贈呈式に向けて急ピッチに進んでいます。

以上 途中経過報告でした 17-3 木村 哲也



3. ルワンダの綿本隊員より報告が届きました。

ルワンダから初めまして！赤道上にも関わらず日本の春を連想させる穏やかな気候と、アフリカのアルプスと形容される丘陵地が広がります。村落開発普及員として赴任してから既に一年経過。現地語を使った水と電気のない生活にもスッカリ慣れました。配属先は現地 NGO、クラブマンスポルティブのカランガジ支部。要請内容は主に、女性や社会的弱者の収入向上を目的としたミシンと識字教室を運営改善。

現在は、郡全体の女性の経済・社会的地位向上を目指し、手工芸団体を組織し、伝統的な入れ物（アガセチェ）をモチーフにした商品開発と市場開拓をしています。ここの女性は家事労働に加え畑を耕し、平均6人以上の子どもを出産し育てます。家計は男性中心。女性を組織し、声を大にしていく意味でも、このプロジェクトは意味深いものだと思っています。今回、このプロジェクトに対して、広島県青年海外協力隊 OB 会の方々より「HOCA ホカプロジェクト」を通して支援金を頂きました。支援金は、主に日本市場を得るための、材料費と郵送料に費やします。このような温かい支援を頂けて女性組織 Duhagurutse（立ち上がろう）と共々、本当に感謝しております。ありがとうございました。 18-0 綿本 結子



* フードフェスティバル&国際協力の日 屋台報告 *

（収益は、HOCA ホカプロジェクトの資金として、現地派遣中の隊員支援に使われます）

10月26、27日に広島城で行われたフードフェスティバルへOB会が出店しました。

メニューは「バングラディッシュカレー」「世界のお茶」

昨年度80万人の来場者を記録したフードフェスティバルに今年も参加しました。来場者の多さと、プロに混じって出展することの大変さから、出展にあたっては春からもめていましたが、無事に2日間を乗り切り二日間でカレー1000杯近く、お茶も数百杯売りました。準備段階は大変ですが、始まってしまうとカレー・お茶が飛ぶように売れていくのでやりがいがあるすごく楽しいものです。またいつもは顔を合わせる事のないOBも応援に来てくれて、忙しいものみんなの交流の場になったと思います。今年のもうひとつの特徴はOB以外の方の参加があったこと。丁度隊員の秋募集時期と重なっていて、協力隊に興味を持つ人たちが屋台運営に参加してくれました。（久田OB）



フードフェスティバルの続き

OB 会のテントは本丸へ入ってすぐの 2 件目にあつたことや、集った OB の「隊員が現地で習った秘伝のレシピ」とか、「13 種類の香辛料を使った広島ではココだけの味」などという声かけもありましたが、なんととっても香辛料のいい香り。これに誘われて沢山の方々にご利用して頂きました。実際、作った私でさえ、『おいしい!』といえる味でした。
(料理担当 前田OG)



さらに翌週の 11 月 4 日は“国際協力の日”への出店でした。

国際会議場前緑地帯で行われた“世界の屋台”コーナーで出展しました。今回のメニューはメキシコの「チリコンカルネ」、東南アジアの「タマリンドジュース」でした。去年と同じ定番メニューでしたが、去年よりは美味しく出来たと思います。しかし、今年はテントが一番奥だったため、売れ行きに伸びがまいちと、途中で心配しました。しかし、OB の一人が出張売り子になって売り歩いたり、各方面へビラ配を配ったり、などの活動のおかげで閉店 1 時間前には売り切れてしまうほど好評をいただき 300 食を売ることができました。翌週ということで OB にも疲れが残っていましたが、さすがに元協力隊員だけあって、みんな協力して頑張りました！



「地球ひろば ～見て、触って、味わって！ 地球ひろばで体感世界～」

11月4日「国際交流・協力の日」では、地上の屋台だけではなく、地下ではJICA中国・青年海外協力隊広島県OB会・JOCA中国支部・ひろしま国際センター共催で、「地球ひろば」という企画ブースを運営しました。



アジアひろば・ラテンひろば・アフリカひろばという3つのひろばが設けられた「地球ひろば」では、世界のお茶試飲や民族衣装試着・世界の文字で自分の名前が書けるなど、楽しみながら異文化に触れる事ができ、来場者のみなさまも楽しんでいる様子でした

また、OBによる「ラテンダンス教室」や「アフリカン太鼓」教室も大好評でした。（推進員 井 尚子）



17年度1次隊お帰りなさい会を行いました

「おかえりなさい～い！」という挨拶で始まった17年度1次隊お帰りなさい会。帰国隊員のうち3名が参加してくれました。マラウイ/自動車整備、ニジェール/野菜、フィリピン/獣医師という3人は、みんな何かを成し遂げたようなさっぱりした顔つきと、1回り大きくなったような雰囲気を漂わせていました。マラウイで習得した打楽器、ニジェールでの過酷な生活環境、フィリピンのおいしいごはん、と何時間あっても聞き足りない思い出話は、また次の会まで持ち越しです。

これを機会にOB会活動への参加もよろしくお願いします！（原OG）



今月の新人紹介 原規子OG

みなさん、はじめまして。3月より青年海外協力協会（JOCA）に勤務しております原規子と申します。9ヶ月前からOB会に参加しているにも関わらず挨拶が遅くなり、すいませんでした。2005年1月から今年の1月までブラジル（日系社会青年ボランティア）で日本語教師をしていました。行くまでは縁もゆかりもない国だったので、2年間どうなることだろうといささか心配もしていましたが、あのブラジルの地は私を大きく迎えてくれました。



私は岡山出身ですが広島に来ることができてよかったと思います。みなさんご存知かどうかわかりませんが、広島県は日本一の移民送出県なのです。至るところで「兄弟がブラジルに行った、親戚がハワイにいる、etc.」という話を聞きます。そして全国の中でも海田町は外国人、主にブラジル国籍の人が多く住んでいる地域です。先日この海田町でブラジルについてお話をさせていただきましたが、日本人がブラジル人を理解するのは難しいことなのかもしれないと感じました。でも、この「溝」の橋渡しをできるのは、私のようにブラジルで生活した者しかいないんじゃないでしょうか？「なんでブラジル人はあんなに騒ぐのか。」という質問をよくされますが、文化というか習慣としか言いようがありません。私たち日本人は静かにして他人に迷惑をかけないというルールがあるように、彼らには音楽をかけて家族や友達と日々を楽しく過ごすというルール（？）があります。同じブラジル人でも中には「うるさいな。」と思う人もいますが、多くは「今日も楽しくやってるな。」という感覚です。遠い異国で生活する彼らにも息抜きは必要です。日本のルールを押し付けていては、自由な国から来た彼らはストレスが溜まることでしょう。こういう彼らの生活の大前提を少しでも多くの人に知ってもらいたいものです。また、逆にブラジル社会に入っていき友達を作る傍ら、日本ではこうなんだよ、とたしなめる（？）必要も多少あるかなとも思います。お互いの歩み寄りって大切です。日本に帰ってきて、この歩み寄りのきっかけになればいいなと感じています。

このブラ汁は一度味わってしまうと病みつきです。本当になんでこんなにブラジル大好き人間になってしまったか、私の人生最大のナゾです。

みなさんもこの汁には気をつけましょう。

（原OG）

19年度2次隊 広島県から3人が世界へ羽ばたきました。

新隊員は、次の3人です。

藤迫雄行 / ウガンダ / 理数科教師

岸田伸一 / ドミニカ / 音楽

堂前晴美 / メキシコ / 手芸

9月18日（火）の夜、広島市中区袋町のタイ料理店「サワディー」で恒例の壮行会が開かれました。残念ながら3人のうちお2人が欠席でしたが、藤迫さんに出席いただき、なんとか壮行会を成立させることができました。OBの出席は11人と少なめでしたが、その分しっかりと新隊員と語り合うことができました。3人の新隊員の皆さん、2年後のお帰りをお待ちしていま～す。



～ ～ お知らせ ～ ～

1. 隊員OBによるトルコ・イラン写真展

11-3 グアテマラOB 羽熊広太です。12月1日～8日まで地元の“野の花美術館”にて国際理解活動の一環として写真展「トルコ・イランの旅・人・食」を行いました。OB会にも後援になっていただきメールリンクでのお誘いをさせていただきました。たまたま帰国直後の隊員も来ていただき話をすることができました。ありがとうございました。

現役隊員の方々はぜひ任国でいい写真や珍しい写真を沢山とってきてください。帰国後にJICA広報誌や開発教育教材など使える場所は沢山あるはずです。またOBで写真展をやりたい方は相談にのります。

今後の写真展の予定

12月23日(日曜)～28(金曜)

1月4、5、6日の間

袋町広島市まちづくり市民交流プラザ

1Fロビー

展示のみ

開館時間： 午前9時30分～午後10時



2. 留守家族懇談会 を行います

日時 平成20年2月16日(土)

場所 留学生会館 (広島市南区)

時間 11:00～14:30

対象 現在派遣中の隊員の家族

これはJICAとOB会が共同で行います。OB会からは毎年任国料理をご家族に振舞います。料理のお手伝いをしてくださるOBを募集します

3. 平成19年度 青年海外協力隊広島県OB会総会 を行います

日時 平成20年2月16日(土)

場所 留学生会館 (広島市南区)

時間 15:00～18:30 (終わり次第終了)

対象 広島県在住のOV全員

*広島県には現在350名以上おられますが、毎年総会出席者は20名程度です。総会といっても、堅苦しい話ばかりではありません。同窓会のつもりで参加しませんか？*同封の葉書に記入の上、ぜひ参加をお願いします！！

**** OB 会役員募集！ ****

広島県 OB 会は、来年度へ向けて OB 会行事を手伝ってくださる、役員を募集しています。
行事といえば...例えば、フードフェスティバルへ出店してホカ HOCA プロジェクトのお金を稼いだり、こうして会報を発行したり、メールを発信したり、と様々です。
みんなで集ってワイワイと楽しくやっていますのでお気軽に参加してみてください。

OB 会メールリンク会員に参加していますか？

OB 会代表メールまで hiroshima_jocv_obkai@yahoo.co.jp 登録するメールアドレスをお知らせください。

住所変更について

毎回 OB 会会報を送付する度に、十数通の封筒が住所変更等で返送されてきます。お引越しなどをされる際はぜひ、ご住所の変更もお知らせください(メール:上記 OB 会代表メール/お便り:封筒明記の事務局長住所まで)。

編集後記

広島では年末恒例の平和大通りのイミネーションが美しく輝いています。ですがカープの黒田選手・新井選手など有力選手が球団を離れ、サッカーのサンフレッチェは J2 に降格するなど、来年の不安が残ります。”窮地にごそ復活するのがヒロシマ魂”として期待しましょう。

今年も 2 回の会報誌の発行を無事終わらせることができました。今回は在広 OB だけでなく、海外で HOCA ほかプロジェクト進行中の現役隊員 3 人に原稿依頼を快くうけていただきました。今後共に海外からの投稿記事も大歓迎です。

秋の 2 大祭りイベントも終わりました。今回は 2 つのイベントが近くで大変でした。当日手伝いに来てくれた OB の皆さんにも感謝ですが、さらに募集説明会を聞きに来てくれた協力隊予備員(?)や広大の留学生が手伝いに来てくれたりと、多数の方が OB 会に協力してくれていると感じました。OB 会はいつも人手不足で大変です。今後ともどんな形ででも手伝ってくださる方を歓迎したいと思います。

収益金が HOCA ほかプロジェクトとして役にたっていることがこの号の各地からの報告でわかりました。来年のイベントのときには写真と記事をパネルにして紹介できればいいですね。さらに広島 OB 会のメンバーのモチベーションが上がるのではないのでしょうか。まさに広島と”海の向こう”とのつながりを感じました。

(編集長 グアテマラ OB 羽熊広太)